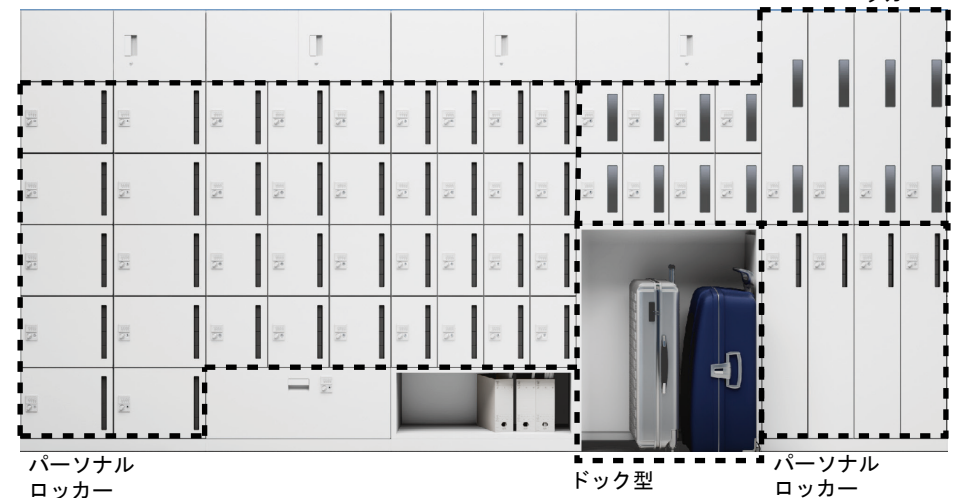


取扱説明書

保証の明細付

パーソナルロッカー
ワンタイムロッカー
ドック型

ワンタイム
ロッカー



この度はイトーキ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この説明書は製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあとも、いつもそばに置いて、わからない時にご再読ください。また、製品をほかの方に渡すときには、必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

I	N	D	E	X
1. 安全上の注意事項	・	・	・	P. 2
2. 使用上のご注意	・	・	・	P. 3
3. 各部の名称	・	・	・	P. 5
4. ご使用方法	・	・	・	P. 6
5. レイアウトの際の注意事項	・	・	・	P. 16
6. 点検・お手入れ	・	・	・	P. 17
7. 品質表示	・	・	・	P. 17
保証の明細	・	・	・	P. 18

1 ⚠ 安全上の注意事項

安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

注意の種類の規定:JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）による次のような危険性の規定に基づいています。

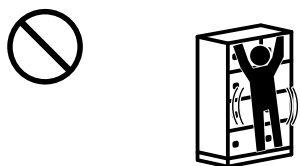
⚠ 警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

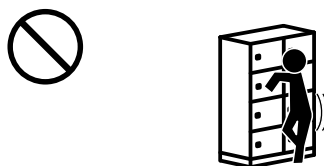
⊘ このマークは禁止行為を表わします。

❗ このマークは行為の指示を表わします。

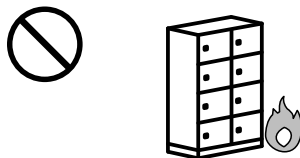
⚠ 警告 本体や棚板の上に乗ったり、扉にぶら下がったりしないでください。転倒してけがをすることがあります。



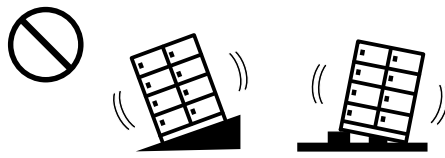
⚠ 警告 寄りかかったり強く押したりすること、物を立てかけたりしないでください。収納物が落下したり、転倒してけがをすることがあります。



⚠ 警告 ストープなど、火気の近くでのご使用は危険ですから避けてください。火災になる危険があります。



⚠ 警告 傾斜している場所、凹凸のある場所に設置しないでください。本体の転倒や変形の原因となります。



⚠ 警告 最大積載質量以上に収納しないでください。本体転倒や変形の原因となります。最大積載質量は棚板などに均一に積載した場合の質量です。収納物は一箇所に集中させないようにして収納してください。一部分に偏った載せ方をしますと、転倒や落下する恐れがあります。



● 総最大積載質量＝段数×棚板1段当たりの最大積載質量（20kg）
＋扉一枚当たりの最大積載質量（1kg）

名称	最大積載質量
棚板	20kg
扉裏ポケット（オプション）	上下合計1kg

⚠ 警告 製品の分解、改造は絶対にしないでください。故障やけがの原因となります。



⚠ 警告 扉裏に手をまわさないでください。扉裏にある施錠機構などの可動部分に手をはさんでけがをすることがあります。



⚠ 警告 投函口やカバーのない穴に、手や指などを入れないでください。けがをすることがあります。



保証の明細

この度はイトーキ製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。お使いの弊社製品が、取扱説明書、本体添付のラベル等の注意書による正常なご使用状態のもとで故障した場合、下記保証期間をご参照のうえ、お買い上げの販売店までご連絡をお願いいたします。

■保証項目

- 保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外装表面・仕上げ	塗装及び樹脂部品の変形および褪色・摩耗
2年保証	機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障
3年保証	構造体	強度・構造体にかかる破損

- 上記の保証期間は、一般オフィスにおいて、通常の執務状態(1日8時間程度)で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使用方をとする所での保証期間ではありません。
- 保証期間経過後の修理については、有料とさせていただきます。(修理によって機能の維持ができる場合のみ)
- 保証期間内でも以下の場合には有料とさせていただきます。
 - ・取扱説明書や貼付ラベル等に従って使用されていない場合の故障または破損。
 - ・中古品、第三者からの譲渡品・転売品の故障または破損。
 - ・異常な環境下(高温・多湿など)でのご使用や保管による故障または破損。
 - ・お客様による納品後の移動や運搬による故障または破損。

■保証書の発行

別途、保証書がご入用の場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。

■保証対象外の場合

- 火災・天災による故障または破損。
- 改造またはご使用者の責任に帰すると認められる故障または破損。

■部品の保有期間について

- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。
- ※仕様については予告なしに変更する場合があります。

■取扱説明書を紛失した場合

お買い上げの販売店までご連絡をお願いいたします。

■製品と修理(修理の範囲・修理に必要な期間)に関するお問い合わせ

イトーキお客様相談センター ☎ 0120-164177 🌐 <https://www.itoki.jp/>

■製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。ご不明な点はご相談ください。

⚠警告



ネジ、ボルトが緩んだまま使用しないでください。本体が壊れ、けがをすることがあります。

⚠警告

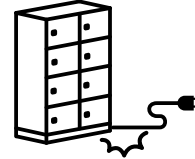


危険物(壊れ物、薬品など)を収納しないでください。人体や備品などを傷つけることがあります。

⚠警告



ケーブルが製品などの下敷きになったり、押し付けなどによりキズがつかないようにしてください。感電や発火の危険があります。



⚠警告



指定のパーツ以外は取付けしないでください。落下してけがをすることがあります。

⚠警告



非常解錠キー(別売り)は大切に保管してください。非常時に解錠ができなくなります。また、キーを使用されて盗難にあうことがあります。

⚠警告



複数段同時に扉を開けないでください。上段の扉を開けたまま立ち上がったときに扉に当たりけがをしたり、製品の破損の原因になります。



⚠警告



必ず連結・固定などの転倒防止対策をした状態でご使用ください。転倒防止対策のない設置は、転倒によりけがをすることがあります。

⚠警告



お客様自身での施工製品の解体、移設、再組立は施工不良の原因となります。お買い上げ販売店にお申しつけください。

⚠警告

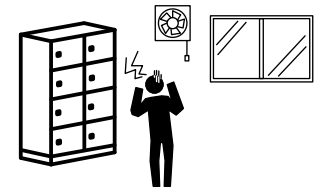


居室の換気をせずに使わないでください。シックハウス症の原因になることがあります。必要換気量の求め方

$$\text{必要換気量} = \frac{20 \times \text{居室の床面積}(\text{m}^2)}{(\text{m}^3/\text{h}) \quad 1\text{人当たりの占有面積}(\text{m}^2)}$$

〔建築基準法に基づく方法
オフィス内における換気量算出の一例です。〕

(注1) 20は成人男性が静かに座っているときのCO₂排出量
(注2) 1人当たりの占有面積が10(m²)を超える場合、10(m²)とします。



2 ⚠ 使用上のご注意

⚠注意



現金や貴重品を入れないでください。施錠・解錠時に暗証番号を読み取られたり、工具などで破壊されて盗難にあうことがあります。弊社では一切の責任を負いません。



⚠注意

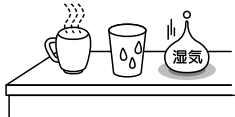
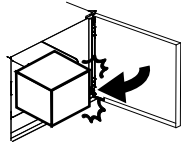
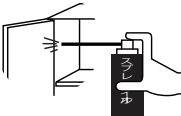


直射日光の当たる場所への設置は避けてください。変色する可能性があります。

⚠注意



加湿器や加熱した鍋・ヤカンなど、蒸気の出る機器をパネルに向けて使用しないでください。

△注意  プール・温泉・厨房など高温多湿の場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障・破損の原因となります。	△注意  投函口の開口寸法以上の大きさの封筒などを、無理に投函しないでください。扉の破損や変形の原因になります。 ■投函口の開口寸： 巾26mm×高さ260mm
△注意  棚板や化粧天板に温かいもの、冷たいもの、湿気があるもの（水滴等）をそのまま置かないでください。また、熱や湿気が直接伝わるようなものを置かないでください。表面材の変色や膨れ、反りなどの原因になります。 	△注意  投函物は投函口に挿したままにせず、奥までしっかりと投入してください。扉や投函口、投函物の破損や変形の原因になります。 △注意  扉裏ポケットには容量以上の物を無理に詰め込まないでください。ポケットや扉の変形、施錠不良、収納物の破損の原因になることがあります。 ■扉裏ポケットの容量 上用：巾125mm×奥行70mm×高さ50mm 下用：直径82mm×高さ230mm
△注意  濡れた傘や、湿気のあるものは収納しないでください。また、水などで濡れた場合はそのままにせず、速やかに拭き取ってください。金具のさびや破損、木製品表面材の変色や膨れ、反りなどの原因になります。 	△注意  庫内コンセントの定格を超える使い方をしないでください。 定格容量：15A 二口合計300Wまで
△注意  棚板の収納ラインを越えたり、庫内から荷物をはみ出して収納しないでください。扉や収納物の破損や変形、施錠不良の原因になります。 	△注意  コンセントに水、異物、ゴミが入らないようにしてください。電気ショートによって発火することがあります。 △注意  コンセント使用時は、プラグは最後まで差し込んでください。
△注意  扉を強い力で押したり物をぶつけたりしないでください。本体の破損、故障の原因になります。	△注意  コンセントは、半年に一度はプラグの爪の間を清掃してください。
△注意  投函口に手をかけて扉を開閉しないでください。扉の変形の原因になります。	△注意  ヒンジ部分などの可動部に注油しないでください。油がたれて、床や収納物を汚したり、扉の開閉に支障をきたす原因になります。 
△注意  使用終了後（荷物、書類の出し入れ後）は、必ず施錠してください。大きな地震発生時に荷物が飛び出すことがあります。	

6 点検・お手入れ

点 検

△注意 ネジのゆるみ

使用中にビス・ボルトのゆるみが生じた場合は必ず締めなおしてください。
 ビス・ボルトがゆるんだまま使用すると本体が壊れてけがをすることがあります。

お手入れ

 お手入れの際には、アルコール、次亜塩素酸、シンナー、ベンジン、化学雑巾などは使用しないでください。変色したり、風合いが変わってしまう場合があります。



通常のお手入れ

乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

ひどく汚れた場合

薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないように水拭きした後、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。



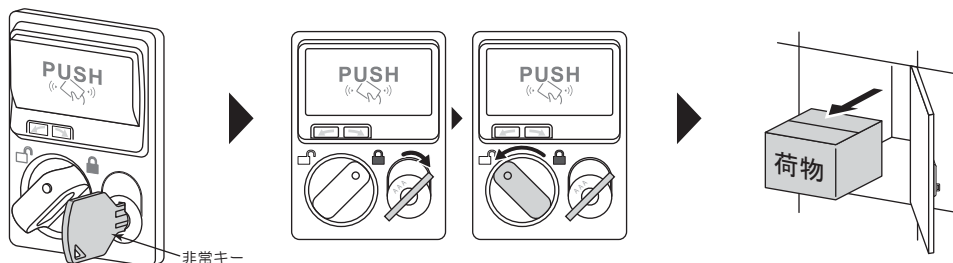
7 品質表示

		高さ	692/1038/1098/1384/1730	コンセント部	
寸法 (単位 mm)	高さ	間口	450/900	コンセントカバー	金属〈鋼〉
	奥行	奥行	450	本体	耐熱ABS樹脂
	重量(単位 kg)	重量	25~87	定格容量	1列あたり最大1500Wまで
構造部材	本体／扉／棚板	本体／扉／棚板	金属〈鋼〉	定格電圧	100V
	引き	引き	ABS樹脂	定格電流	15A
	投函口枠	投函口枠	ABS樹脂／POM樹脂	電源コードの長さ	2m
	庫内仕切板	庫内仕切板	PS樹脂		
	扉裏ポケット (オプション)	扉裏ポケット (オプション)	ABS樹脂		
表面加工	本体	本体	ポリエステル／アミノアルキド樹脂塗装		
	扉	扉			
一部本体		一部本体			

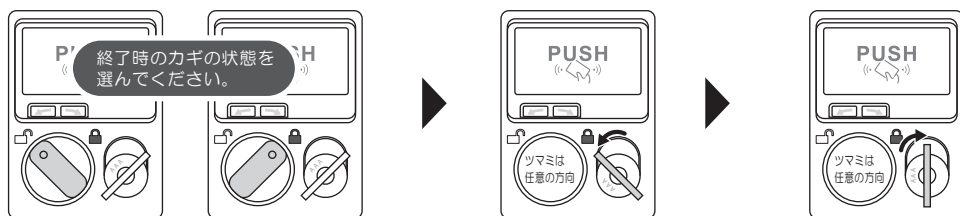
「家庭用品品質表示法」にもとづく表示

非常時の解錠方法

- 1 非常キーを非常錠に差し込みます。
- 2 非常キーを右に回るまで回し、ツマミを  側へ回します。
- 3 扉を開け、荷物を取り出す、もしくは電池交換をします。



- 4 扉を閉め、非常時の解錠操作終了時にさせたい鍵の状態（ もしくは  ）にツマミを回します。
- 5 非常キーを左に回るまで回します。
- 6 非常キーを中心に戻し、引き抜きます。



5 レイアウトの際の注意事項

レイアウトするには、転倒を防止するため以下に記載する条件にしたがってください。

安全に正しくご使用いただくため、お客様ご自身の移設やレイアウト変更はしないでください。組立て・施工が不十分だと、製品が破損・転倒する恐れがありますので、移設やレイアウト変更の際には、必ずお買い上げ販売店にご相談ください。

警告 下記事項を守って設置してください。重大な事故につながる恐れがあります。



- ・窓やガラスパーティションの前にレイアウトしないでください。
- ・本体どうしおよび壁床との連結や固定をしてください。
- ・単体でご使用の際はウェイト（別売）を取り付けるか、壁固定・床固定を行ってください。
- ・据付けに際しては、湿気の多いところを避け、本体を水平に保つために必要な措置を講じてください。
- ・転倒防止金具の効果は、イトーキ専門業者による調査・正しい施工を行った場合にのみ期待できます。正しい施工調査のもとにお使いください。
- ・ドック型は単独でのご使用はしないでください。必ずロッカー等と連結してご使用ください。

注意



本体上に物を載せる場合にはオプションの化粧天板をご使用ください。扉の開閉ができなくなることがあります。

注意



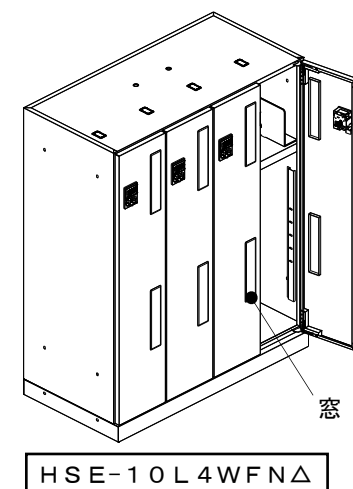
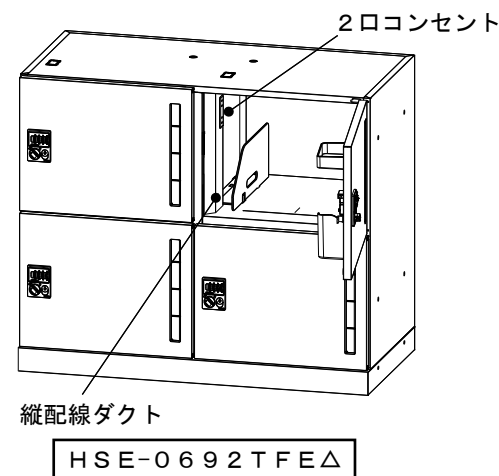
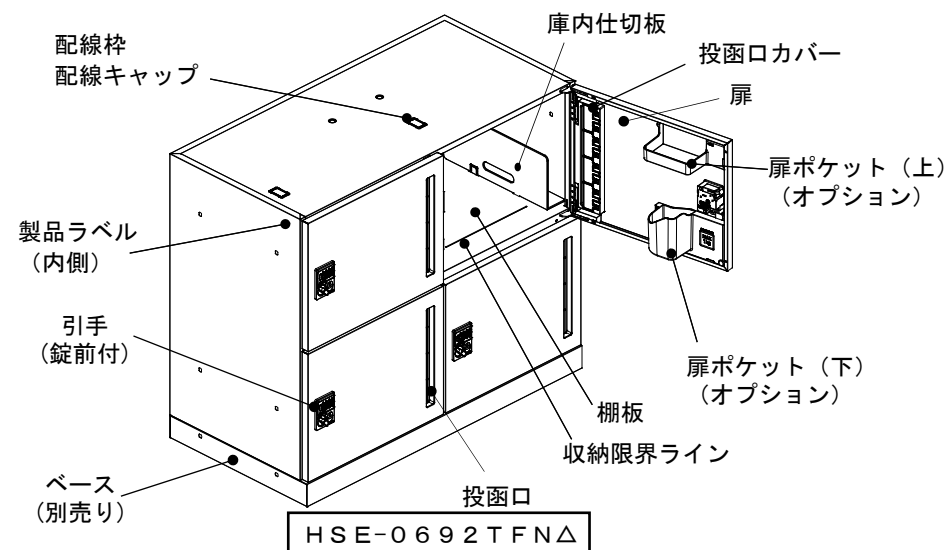
消しゴムをケース無しの状態で長時間放置しないでください。製品の表面を溶かしたり、変色させる原因となります。

注意



棚板・扉裏ポケットは固定式のため、取り外し、付け替えができません。取り外しの際はご自身でなさらず、お買い上げ販売店にお申し付けください。

3 各部の名称



4 ご使用方法

各錠前のご使用方法については以下のページを参照してください。

- ・シリンダー錠タイプ・・・P 6
- ・ダイヤル錠タイプ・・・P 7
- ・ゼロリセットダイヤル錠タイプ・・・P 9
- ・オートロックプッシュ錠タイプ・・・P 11
- ・カードキータイプ・・・P 13

錠前使用方法説明シール

ダイヤル錠、ゼロリセットダイヤル錠、オートロックプッシュ錠、カードキータイプには錠前のご使用方法を記載したシールが一枚付属されています。使用時に見やすい場所へ、錠と同じイラストのシールを貼り付けてください。

- ・錠や投函口に重ならないようにしてください。

庫内仕切板の着脱方法

庫内仕切板は着脱が可能です。

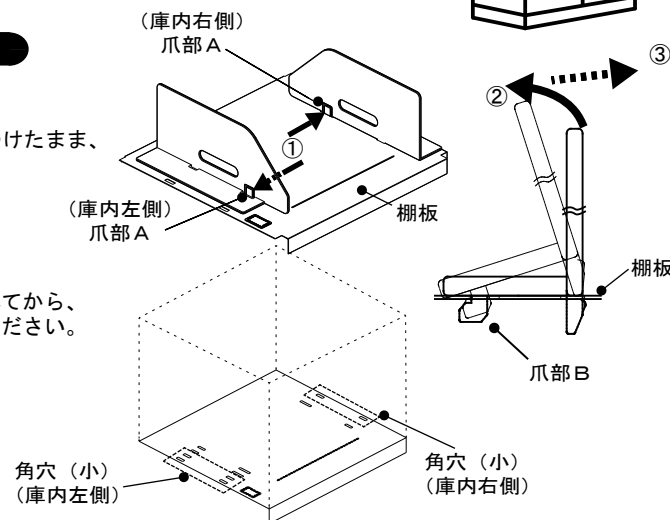
■外し方

- ①爪部AをL型の外側から押しつけたまま、
- ②回転させるように引き上げ
- ③斜めにスライドさせることで取り外すことができます。

■取り付け方

爪部Bを棚板の角穴（小）に入れてから、「外し方」の逆の手順を行ってください。

※取付位置は、
庫内左側：2段階
庫内右側：1段階
の設定です。



■シリンダー錠タイプのご使用方法

■開け方：キーを左へ180度回転させると、扉が開けられます。
(キーが止まるまで回転：表示は青色)

■閉め方：キーを右へ180度回転させると、扉がロックされます。
(キーが止まるまで回転：表示は赤色)

●キーには表裏の向きが無く、どちらの向きで差し込んでも使用できます。

①キーの操作は、鍵穴が水平になるまで、しっかりと止まるまで回した状態まで行ってください。
途中の状態でもキーを無理に引き抜こうとすると、鍵の破損の原因になります。

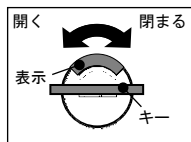
②キーを差込んだまま、開閉しないでください。鍵の破損やキーの紛失の原因になります。

③施錠状態にしたまま、扉を閉めないでください。本体や施錠機構が壊れることがあります。

また、キーの閉じ込めなどが起こることがあります。

④スペアキーを本体内部に入れて保管・施錠しないでください。

⑤キーの差し込みはまっすぐに行い、斜めにしたり角度をつけて行わないでください。
施錠機構が壊れることがあります。



扉を解錠するとき

1 起動ボタンを押し、登録したICキーをかざします。

2 ツマミを に回すとかぎがかかります。



・1の操作でICキーをかざした後つまみを に回さないで5秒後にエラー音ピープと共にロックがかかります。かぎをあける場合は1の操作からやり直してください。

登録済みICキーの個別削除方法（メンバーモードのみ）

●削除したいICキーが手元に無い場合は個別削除はできません。次ページの「登録済みICキーの一括削除方法」をおこなってください。

1 ツマミが 側にあることを確認し、起動ボタンを押してから削除カードをかざします。

2 削除したいICキーをかざします。複数ある場合は連続でかざすことができます。

3 再度削除カードをかざすと、削除モードが終了します。



登録済みICキーの一括削除方法（メンバーモードのみ）

1 ツマミが 側にあることを確認し、起動ボタンを押してからモード設定カード（メンバー）をかざします。

2 登録したICキー情報は全て削除されます。



モード設定方法

- モード設定をするためには、現在の設定とは違う「モード設定カード」が必要です。
- 以下はメンバーモードからビジターモードへの設定例ですが、ビジターモードからメンバーモードへの設定の場合でも操作は同様です。

- 1 ツマミが 側にあることを確認し、起動ボタンを押します。
- 2 設定したいモード設定カードをかざします。
- 3 変更後のモードに設定されます。



・モード設定をおこなうとメンバーモードで登録したICキー情報はすべて削除されますのでご注意ください。

ICキーの登録方法（メンバーモードのみ）

- 1 ツマミが 時、起動ボタンを押し、登録カードをかざします。
- 2 登録したいICキーをかざします。複数ある場合は連続でかざすことができます。
- 3 再度登録カードをかざすと登録モードが終了します。



- ICキーの最大登録数は500件です。501番目は登録できずにエラー音が「ピーツ」と鳴ります。その際は次ページの「登録済みICキーの個別削除方法」をおこなって、ICキーの登録数を減らしてから追加登録をおこなってください。

扉を施錠するとき

- 1 起動ボタンを押し、ICキーをかざします。メンバーモードの場合は登録済みのカード、ビジターモードのときは登録したいカードをかざします。
- 2 ツマミを に回すとかぎがかかります。



・①の操作でICキーをかざした後つまみを ⇒ に回さないと5秒後にエラー音ピーツと共に操作前に戻ります。かぎをかける場合は1の操作からやり直してください。

ダイヤル錠タイプのご使用方法

ダイヤル錠の操作

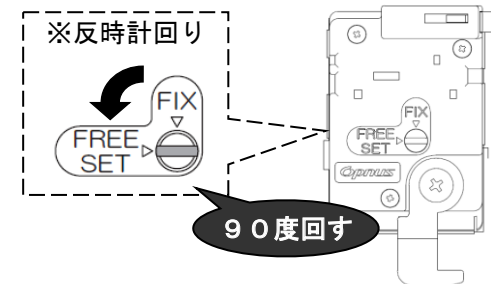
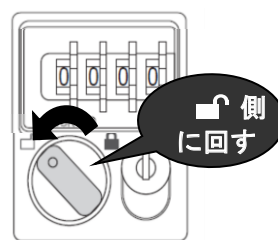
納品時には『固定方式』で設定されています。

ダイヤルは【0、0、0、0】、つまみはCLOSE（）に設定されています。

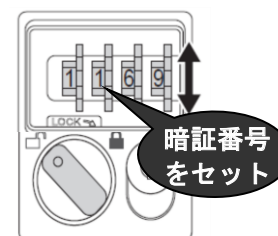
ダイヤルを【0、0、0、0】のまま、つまみをOPEN（）に回し、扉を開けてください。

暗証番号の登録方法

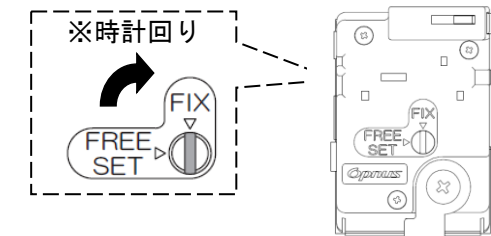
- 1 ツマミが 側にあることを確認してください。
- 2 ダイヤル錠裏面のモードセクタを、FIX → FREE SET に90度回します。



- 3 4桁の登録したい暗証番号に合せます。



- 4 モードセクタを、FREE SET → FIX に90度回します。



- 表面のつまみを 側に回し、登録した暗証番号のとおり施錠できることを確認してください。
- 安全にご使用していただくために、暗証番号は定期的に変更することをお勧めいたします。
- モードセクタの操作はゆっくり、無理な力を加えず、90度以上回さないでください。必ず暗証番号を合せて、つまみを 側にした状態でモードセクタの操作を行ってください。誤った操作は、錠前の機構部分の破損の原因になります。

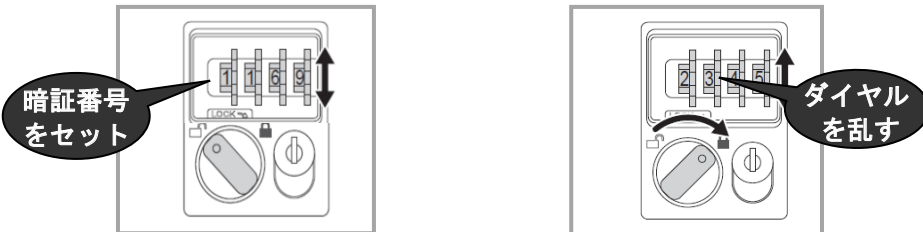
自由方式への変更方法

本製品は暗証番号の設定方法が、『固定方式』（納品時）と、『自由方式』の切替えが可能になっています。固定方式・・・一度記憶させた暗証番号を継続的に使用し、2回目からは設定は必要ありません。自由方式・・・使用のつど暗証番号を設定し、施錠します。

- 1 ツマミが 側にあることを確認してください。
- 2 ダイヤル錠裏面のモードセクタを、FIX → FREE SET に90度回します。
- 3 設定終了です。任意の暗証番号のとおり施錠できることを確認してください。

扉を施錠するとき

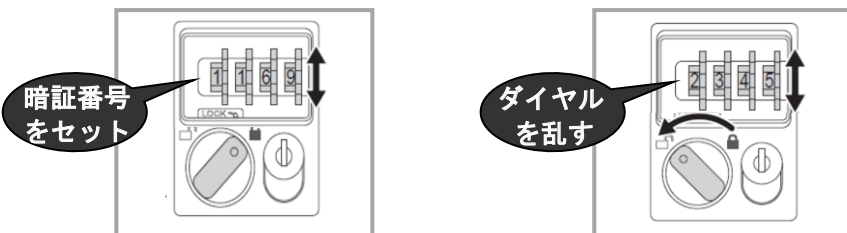
- 1 ツマミが  側にあることを確認してから扉を閉め、暗証番号をセットします。
- 2 ツマミを  側に回して、ダイヤルを乱すと施錠されます。



- ❗ ツマミを  側にする前に、必ずダイヤルが暗証番号になっていることを確認してください。違う暗証番号で  側にし、ダイヤルを乱してしまうと、解錠できなくなります。
- 固定方式の場合、設定した暗証番号以外では、ツマミを回すことはできません。

扉を解錠するとき

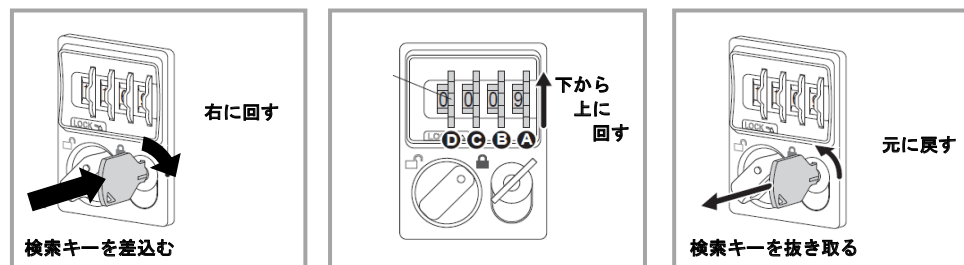
- 1 ダイヤルを暗証番号にセットします。
- 2 ツマミを  側に回すと解錠されます。解錠後はダイヤルを乱してください。



- 解錠後は暗証番号が表示されています。必ずダイヤルを乱して、暗証番号の漏洩にご注意ください。

暗証番号を忘れたとき

- 1 内筒に検索キーを差し込んで、右に止まるまでキーを回します。
- 2 右側から（A→B→C→D）の順に、下から上にダイヤルを回していくと、セットした暗証番号でダイヤルが止まります。
- 3 検索キーを元に戻して抜き取ります。ツマミが  側に回れば検索完了です。



検索キーは別売りです。詳しくはお買い上げ販売店までご連絡ください。

■カードキータイプのご使用方法

- 乾電池仕様は、単三アルカリ乾電池4本を使用します。（乾電池の寿命目安は1日10回使用して約2年です。※保証値ではありません）
- 本製品は、任意の F e l i c a、M I F A R E の I C キーを認証し、ツマミを右に回すと施錠します。取り出すときは、登録させた I C キーを認証させ、ツマミを左に回すことで解錠します。
※ F e l i c a は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 非常キーの紛失時には、別 N o . 非常キー（別売品）へ交換いただくことになります。
- 電源が遮断された状態でもメモリの内容は保護されます。

■標準カードセット



■オプション（別売品）

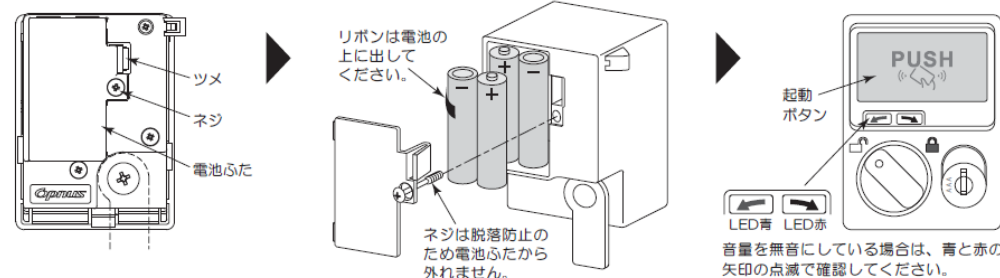


- ・メンバーモードとは
事前に I C キーを登録し、登録されている I C キーのみ鍵の開け閉めができます。
- ・ビジターモードとは
お手持ちの I C キーで、その都度鍵の開け閉めができます。

電池のセット（交換）方法

- 電池を外してもメモリの内容は保護されます。

- 1 本体背面のネジを外し、電池ふたのツメを押し取り外してください。
- 2 単三アルカリ乾電池を下図のとおり、ケースに入れて、ふたをしめネジで止めてください。
- 3 起動ボタンを押し、プザーが「ビッ」と鳴るのを確認してください。



- 電池の残量が少なくなると音と光でお知らせします。お早めに乾電池の交換をおこなってください。
【電池残量 15%以上～30%未満】⇒起動ボタンを押すと「ビビッ ビビッ ビビッ」と鳴ります。
【電池残量 15%未満】⇒起動ボタンを押すと青と赤の矢印が点滅しながら「ビビビッ ビビビッ」と鳴ります。

《注意》

- 電池の向きにご注意ください。
- 古い電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ乾電池をご使用ください。
- 充電式電池は使用しないでください。

扉を解錠するとき

- ① 「C」ボタンを押してください。
② 暗証番号のボタンを押してください。
- ツマミを「」まで回したまま、扉を開けてください。

※図例は暗証番号「123」の場合です。

扉を施錠するとき

- 扉をしめてください。
※扉の表面を押しながら、最後までゆっくりと閉めてください。
- 自動的にツマミが「」側に回り、かぎがかかります。（オートロック）

※ツマミを持たないで扉を押してください。

暗証番号を忘れたとき

- 非常解錠キーを差込んでください。
- 非常解錠キーを右に90度回してください。
- ツマミを「」側に回したまま、扉を開けてください。
- 荷物を取出してください。
- 非常解錠キーを元の位置に戻し、まっすぐに引抜いてください。
- 扉をしめると、自動的にかぎがかかります。

※非常解除キーでは暗証番号を検索することはできません。扉をしめる前に、「暗証番号の登録方法」の手順に従い暗証番号の再登録を行ってください。

■ゼロリセットダイヤル錠タイプのご使用方法

ダイヤル錠の操作

ダイヤルは【0、0、0、0】、ツマミはCLOSE（）に設定されています。
ダイヤルを【0、0、0、0】のまま、ツマミをOPEN（）に回し、扉を開けてください。

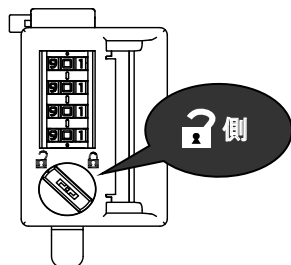
暗証番号の登録方法

- ツマミが  側にあることを確認してください。
- 現在の暗証番号に合わせます。
- ダイヤル錠裏面の設定スイッチを矢印の方向へ押し込んでください。（押し込んだ位置で止まります。）
- 新しく登録する4桁の暗証番号に合わせます。
- ダイヤル錠裏面の設定完了スイッチを押してください。（「カチッ」という音とともに、設定スイッチが元に戻ります。）

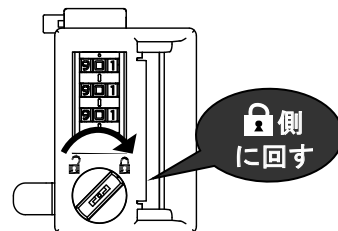
- 表面のツマミを  側に回し、登録した暗証番号のとおりに施錠できることを確認してください。
- より安全にご使用していただくために、暗証番号は定期的に変更することをお勧めいたします。
- 必ず暗証番号を合せて、ツマミを  側にした状態で設定スイッチの操作を行ってください。誤った操作は、錠前の機構部分の破損の原因になります。

扉を施錠するとき

- 1 ツマミが  側にあることを確認してから扉を閉めます。

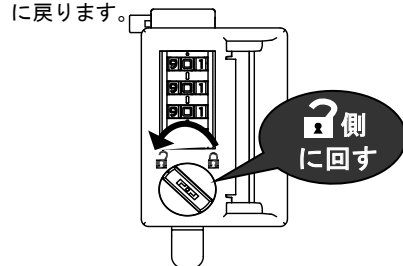


- 2 ツマミを  側に回すと施錠されます。



扉を解錠するとき

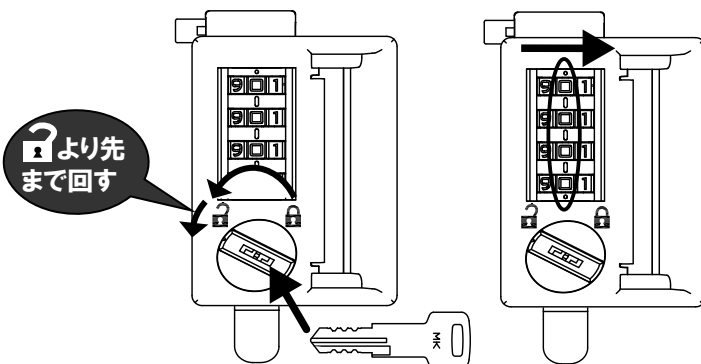
- 1 ダイヤルを暗証番号にセットします。
- 2 ツマミを  側に回すと解錠されます。解錠後は自動でダイヤルが【0、0、0、0】に戻ります。



●解錠時のツマミを回す速さによっては、ダイヤルが【0、0、0、0】に揃わないことがあります。

暗証番号を忘れたとき

- 1 内筒に検索キーを差し込んで、左に止まるまでキーを回します。
- 2 検索キーの位置を保持したまま、ダイヤルを左から右へ回していき、止まった番号が暗証番号です。
- 3 ツマミを  側へ戻し、検索キーを抜いてください。



①暗証番号が合致したら、それ以上ダイヤルを回さないで下さい。故障の原因になります。

検索キーは別売りです。詳しくはお買い上げ販売店までご連絡ください。

■オートロックプッシュボタン錠タイプのご使用方法

暗証番号の登録方法

- 出荷時には暗証番号がセットされていないので、暗証番号を押さなくても、ツマミが「」位置に回ります。必ず暗証番号を登録してからお使いください。
- 本製品は暗証番号の設定方式が『固定方式』となっております。一度記憶させた暗証番号を継続的に使用し、2回目からは設定は必要ありません。
- かぎをあげ、表面のツマミの位置が「」側にあることを確認してから暗証番号の登録をおこなってください。

- 1 錠前裏面のモードセレクトを FIX → SET に 90度回します。
- 2 ①「C」ボタンを押してください。
②登録したい暗証番号のボタンを押してください。
- 3 モードセレクトを SET → FIX に90度回します。



※図例は暗証番号『456』の場合です。

- 本製品は、扉をしめると自動的にかぎがかかる『オートロック』仕様です。暗証番号を登録後、扉をしめる前に、登録した暗証番号が押されているか再度確認してください。
- 暗証番号として【0】～【9】と【*】の計11個のボタンを使用できますが、番号の重複はできません。
- ボタンを1つでも押さないと暗証番号は登録できません。安全上3～5桁の暗証番号の設定をおすすめします。
- ボタンを押す順番は関係ありません。
【1】→【2】→【3】も、【3】→【2】→【1】も同じ暗証番号となります。
- ボタンを押した間違った場合は【C】ボタンを押して一旦クリアしてください。
全てのボタンがクリアされますので、もう一度最初から番号を押し直してください。
- より安全にご使用していただくために、暗証番号は定期的に変更することをお勧めいたします。
- モードセレクトの操作はゆっくり、無理な力を加えず、90度以上回さないでください。
誤った操作は、錠前の機構部分の破損の原因になります。